国際標準・ルールに係る今後の我が国の取組に係る提言概要①

国内外の社会課題解決を通じた市場の開拓・拡大、投資・イノベーションの促進、経済安全保障の確保等の観点から官民一体となって能動的に国際標準・ルールを形成すべく、今後の官民の取組の方向性として以下の方向性を取りまとめ

１．横断的取組

①産学官金の取組（官民の意識や行動の変容、公共調達や研究開発資金等での標準活用など）

- ●オープン＆クローズ戦略を通じた、研究開発・知財・標準・事業戦略の一体的推進（政府が提示する「型」の活用や政府の取組に伴走する専門組織の機能強化）
- ●公共調達における規格の活用ガイダンス整備（先行事例の積み重ね、民間調達等における規格の活用）
- ●企業におけるCSO（Chief Standardization Officer）の設置促進
- ●守り・協調のための国研・大学への理解・連携強化等　など

②標準エコシステムの強化（人材育成、専門機関の育成・強化とその活用など）

- ●省庁・分野間連携による効率的な人材育成、産業界やアカデミアによる自主的な人材育成に向けた取組
- ●国研・独法等による国際標準活動の人事評価への組み込み（方法論の検討やモデル事例積み重ね）
- ●産業界におけるキャリアパス事例等を通じた人材育成
- ●試験・認証機関など専門サービスの育成強化と、産業界による専門サービスの戦略的活用（国内と海外認証機関との連携強化、個社に対するコンサルティング、認証産業における基盤整備など）
- ●制度・標準・認証の一体的活用に向けたガイドライン整備など

③標準戦略の明確化とガバナンス（官民連携、情報共有、省庁間連携など）

- ●官民ハイレベルフォーラムの機能強化、具体的取組の推進（人材やノウハウの共有等）
- ●各分野・領域における官民連携体制の構築

④国際連携の強化（国際的なネットワーキングの強化、国際相互承認の推進、各国との連携強化など）

- ●国際会議の招致、国際会議への参画、主要ポストの獲得、連携強化、相互運用性の確保とその方法論の確立・仕組み化の検討
- ●官民横断での海外との連携強化、ODAを通じた国際標準化に向けた途上国支援
- ●研究その他の国際連携における国際標準化のアジェンダ化

国際標準・ルールに係る今後の我が国の取組に係る提言概要②

2．領域別の取組

戦略領域（緊急性高）、**重要領域**（中長期的に対応）について、**方法論**を確立しつつ、領域単位での国際標準戦略の策定・実行等とともに、成長戦略における17戦略分野の取組も踏まえ、各領域について以下の分野を考慮して今後の取組を進める。

①環境・エネルギー
（気候変動・エネルギー・GX）トランジションといったコンセプトやマネジメント、製造プロセスや製品単位での国際評価手法、GHG排出量算定・報告やクレジット利用ルール、次世代（ペロブスカイト）太陽電池、水素・アンモニア等
（自然共生）自然共生型のコンセプト・マネジメント、関連情報開示に向けた固有の指標やデータセット、ネイチャーポジティブ製品やサービスの普及に向けた製品単位での国際評価手法、自然資本・生物多様性の価値評価・取引ルール等
（循環経済）3R 等の資源循環技術、企業連携に関するマネジメント、製品の環境情報等のデータ管理、各製品の実態に沿ったエコデザイン、循環経済に関する規制・制度、循環性指標や情報開示スキーム等

②食料・農林水産業 スマート農業技術、環境保全型農業の要件、高品質・高付加価値の農林水産物・食品の定義・試験方法、食事全体で栄養評価する概念等

③防災 防災事前投資を誘導する災害リスクファイナンス、質の高いインフラの要件定義、災害情報を共有するためのデータ規格等

④デジタル・ＡＩ
（デジタル）相互運用性を確保したデジタル・アイデンティティの運用等、データ連携基盤における安全なデータ流通を確保した上でのデータスペース規格や海外デ ータスペースとの連携等
（AI）AIの安全性要件やデータ分析及び機械学習に必要なデータ品質、構造、フ ォーマット、領域特化の AI、人と協業するロボットの普及拡大に資する安全性や運用基準、フィジカルAI等

⑤モビリティ 業者・システム間連携のための物流のデータフォーマット、次世代航空機の開発や市場獲得に向けた安全性・環境性能の要件、次世代船舶の開発や市場獲得に向けた安全・環境基準、鉄道・港湾の性能評価、次世代自動車の車載用蓄電池の安全性試験規格等

⑥情報通信 我が国が強みを有するオール光ネットワーク分野、非地上系ネットワーク（NTN）分野、無線アクセスネットワーク（RAN）分野等

⑦量子 量子コンピュータのハードウェア・ソフトウェアの性能評価や部素材の規格化等、量子暗号通信ではネットワークプロトコルや QKD 装置の実装安全性認証等、量子センシングでは部素材の性能評価等

⑧バイオエコノミー バイオものづくりの付加価値のコンセプト化、バイオ製造の安全基準、バイオ製造技術の確立やバイオ由来製品の品質基準や認証等

戦略領域

⑨介護・福祉 介護の品質、介護テクノロジー等
⑩インフラ 位置情報・地理空間情報、港湾等
⑪フュージョン 安全基準、設計・建設規格、部素材材料規格等
⑫宇宙 衛星ナビ、ロケット、射場、衛星データ等
⑬半導体 省エネ半導体や試験・評価手法等
⑭素材 計測手法や品質評価等
⑮資源 持続可能な原材料・サプライチェーン等
⑯海洋 VDES（航海機器）、自律性無人探査機（AUV）等
⑰医療・ヘルスケア 医療データの相互運用、医薬品規制調和等

重要領域

3．全般的取組

重要領域・戦略領域に留まらず、ワット・ビット連携やSoSなどの領域横断的なルール・標準化に加え、今回の政府の**成長戦略**や**第七期科学技術・イノベーション基本計画**を踏まえた、重要な技術・商材について、国際標準化の観点から官民で適切に対応（**戦略１７分野を中心とする成長戦略の官民投資ロードマップに国際標準化をビルドイン**し、標準化活動を推進するとともに、そのために必要となる予算を積極的に要求・確保。）